


<http://www.ebetsu-city.ed.jp/daisan-t/>

令和7年10月10日発行

－ 校訓 －

敬愛 責任 勤労

「勤労を貴び、責任ある行動をし、敬愛される人になろう」

－ 学校教育目標 －

- ・意欲的に学習に向かい、粘り強く課題を追求する生徒
- ・自他を敬愛し、豊かな心をもつ生徒
- ・物事を正しく判断し、責任ある行動がとれる生徒
- ・働く喜びを感じ、心身ともに健康な生徒

保護者アンケート結果について

7月に保護者の皆様にご協力いただいたアンケートの結果をお知らせします。回収率は目標の70%を超える、71.1%となりました。ご協力ありがとうございました。現在、保護者の皆様のご意見や生徒のアンケート、教職員による自己評価を踏まえ、教育活動の見直しと改善に努めているところです。12月にも同様のアンケートを行います。目標回収率を75%としますので、改めてご協力をお願いします。

No.	評価内容	評価割合				良傾向 回答合計
		4	3	2	1	
1	お子さんは、将来の職業や自分の進路について、以前より考えるようになっている。	25.0%	41.3%	22.7%	11.0%	66.3%
2	お子さんは、予習や復習に取り組むなど、意欲的に授業に参加している様子がある。	25.0%	37.8%	29.7%	7.6%	62.8%
3	お子さんは家庭学習(塾などでの学習も含む)に積極的に取り組んでいる。	27.9%	30.8%	29.7%	11.6%	58.7%
4	AIドリルなどの学校の学習サポート事業はお子さんの学習に役立っている。	15.3%	52.9%	25.9%	5.9%	68.2%
5	学校は、積極的にいじめ防止や早期解消の取組を行っている。	28.8%	53.4%	15.3%	2.5%	82.2%
6	教員は、生徒の話を聞いたり、悩みに答えたりなど、相談にしっかり対応している。	34.9%	53.8%	10.7%	0.6%	88.8%
7	お子さんは、あいさつや場に応じた言葉づかいをしている。	38.6%	55.0%	6.4%	0.0%	93.6%
8	お子さんは、校則や校外生活のきまりを守って規則正しい学校生活を送っている。	41.9%	51.7%	4.1%	2.3%	93.6%
9	学校は、行事や生徒会活動を充実させ、生徒が意欲を持って生活できるようにしている。	42.1%	48.0%	9.9%	0.0%	90.1%

No.	評価内容	評価割合				良傾向 回答合計
		4	3	2	1	
10	お子さんは、部活動に参加することで、成長が 感じられる。 (お子さんが入部しているご家庭が回答)	55.2%	34.4%	7.1%	3.2%	89.6%
11	お子さんは、周囲とかかわりを持ち、よい人間 関係をつくろうと意識している。	48.8%	43.0%	7.0%	1.2%	91.9%
12	お子さんは、家庭で新聞や本などの読書に取り 組んでいる。	11.0%	24.4%	35.5%	29.1%	35.5%
13	お子さんは、SNS やゲーム、動画視聴をはじめ としたインターネット環境を使用する際、家庭で のルールを守っている。	21.5%	50.6%	23.3%	4.7%	72.1%
14	「よくわかる三中校区小中一貫教育」や、学校だ よりやホームページなどで発信される情報で、 小中一貫教育の様子がわかる。	27.6%	54.1%	16.5%	1.8%	81.8%
15	学校だよりや学級通信、学校ホームページやテ トル、マチコミメールなどで学校の様子がわか る。	48.8%	46.4%	4.2%	0.6%	95.2%

○保護者の皆様のご意見から

① 校則について

- 【学校に置いておいてよい道具類について】学校が生徒に指導している内容が、保護者の方に伝わっていない様子が 있습니다。学校に置いていってよい教科書類・道具類については、全教科でほぼすべてを認めています。通学リュックの重さを懸念される声が多く寄せられていますが、置いて行って良いことになっています。お子さんと「学校に置いていく荷物」と「持ち帰る荷物」について、ご家庭でご確認ください。
- 【新しい制服に関する着こなしについて】新しい制服について、同じ着方をしていて、注意されるケースと注意されないケースがあるとのことご指摘がありました。制服を変更しての初年度で、新しい制服に関するルールや解釈が教員によって違いがあったようです。今後このようなことが無いよう、是正していきます。

- ② 家庭学習について、中学生になり計画的に取り組むようになったという声が多い一方で「しなくなった」「宿題や課題を多くしてほしい」などの声も多くあります。中学校からの家庭学習は「自分が興味を持っているもの・自分の目標を達成する上で必要なこと」に自主的に取り組むことが期待されます。なお、家庭学習のやり方は各教科で、教科担任より指導されています。「何のためにやるのか・何になるためにやるのか」をお子さんと話し合ってみてください。目標が具体的にになるとさらに効果が上がります。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

本年4月に3年生を対象に実施いたしましたこの調査について、本校の結果をお知らせします。この調査結果を受け、分析と考察を行い、学習指導や授業改善に取り組んでおります。ご家庭でもお子様の指導等の参考にいただければと思います。

1. 学力検査正答率の結果から（全国平均との比較）

- 国語：全国平均と比較して、やや下回っている。
- 数学：全国平均と比較して、ほぼ同様である。
- 理科：全国平均と比較して、下回っている。※比較の仕方が国語、数学とは異なります。

2. 各教科の成果と課題のあった問題（代表的なものを1問ずつ）

(1) 成果（正答率が全国平均と同等もしくは上回ったもの）

- ① 国語：目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる問題。大問1-二
- ② 数学：事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができるかどうかをみる。大問6（1）※以下参照
- ③ 理科：科学的な探求を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探求から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる問題。大問1（6）※以下参照

(2) 課題（正答率が全国平均と比較し、下回っているもの）

- ① 国語：資料から読み取ったことをもとに、接続する語句や指示する語句を用いて、適切に説明することができるかどうかをみる問題。大問1-三 ※以下参照
- ② 数学：事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題。大問8（2）※以下参照
- ③ 理科：電熱線で水を温める学習場面において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる。大問1（1）

成果のあった問題

- 6 結素さんと来一さんは、3、6や12、15のような連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べるために、次の計算をしました。

3、6 のとき $3 + 6 = 9$
 12、15 のとき $12 + 15 = 27$
 30、33 のとき $30 + 33 = 63$

次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

- (1) 結素さんは、これらの計算の結果から、「連続する2つの3の倍数の和は、いつでも9の倍数になる」と予想しました。しかし、この予想は成り立ちません。この予想が成り立たないことを下のよう説明します。下の(1)から(3)までに当てはまる整数をそれぞれ書き、説明1を完成しなさい。

説明1

連続する2つの3の倍数が、例えば、(1)と(2)のとき、(1) + (2) を計算すると、和は(3)となり、9の倍数ではない。
 したがって、「連続する2つの3の倍数の和は、いつでも9の倍数になる」という予想は成り立たない。

探究を振り返る

水通水、精製水について探究したことを発表しています。

水通水について
 ・河川の水などを濾過機で濾過すると、いろいろな生物がいるので、安全に飲むための工夫をしている。
 ・河川の水などを浄水施設でろ過し、塩素を投入したものを水道水として利用している。

精製水について
 ・理科の実験で使用する精製水は、水道水を蒸留したり、ろ過したりしてつくられ、無菌状態にある。
 ・精製水とミネラルウォーターの違いは何かを調べている。

探究を通じて、さらに疑問に思ったことを書き添えて振り返ります。

探究を通じて、はじめての考えから考えが変化したことに着目して振り返ります。

探究を通じて、身近な生活とのつながりを感じたことに着目して振り返ります。

Bさん
 ……水について、…ということが分かり、…についてさらに疑問を感じたので…

Cさん
 最初は…と思っていたが、…という考えに変わりました。

Dさん
 ……の、身近な生活とのつながりがあることが分かりました。

- (6) 上の図表を見て、水通水と精製水の違いは、Bさん、Cさん、Dさんを参考にして、あなた独自の振り返りを書きなさい。

振り返り

課題のあった問題

- 1 下の1から9までの数の中から素数をすべて選び、選んだ数のマーク欄を黒く塗りつぶしなさい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

素数に1は含まれないことを理解していない誤答が多かった

【工夫】と【感想の一部】を適切に関連付けて書くことに課題

【ちらし】(更新版②)

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
 私たちが美術の時間に作った作品を展示します。どれもかいたしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

日時 令和7年11月15日(土) 10時～16時

場所 第一中学校 体育館

会場図



- 四 今年の美術展では、昨年の美術展に未出場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【ちらし】(更新版②)の()の部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び(どちらを選んでもかまいません)、それと結びつく小学生の【感想の一部】をアからウまでの中から1つ選び、それぞれ振り返りなさい。

条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指し示する語句を使って書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

(3) 全体を通じて

- ① 成果：基礎的・基本的な知識・技能は有していると言える。また、表現力の向上がみられる。
- ② 課題：複数の情報を結び付けて、その関係を踏まえて表現することに課題がある。

3. 学校としての改善策

- ・ 学習の見通しとふり返りのある学習過程の中で、生徒の学習意欲と学力の向上を図ります。
- ・ 話し合い活動（ファシリテーション）を全教科で取り入れ、表現力を高めます。
- ・ まとめや発表の場面では「なぜそう考えたのか」など根拠を明確にして表現できるようにします。
- ・ 解答が条件を満たしているのかを生徒自身が振り返る場を設定します。
- ・ 一人一台端末など、ICT等の活用により、学び合いを活性化させ、学習事項の定着向上を目指して授業改善を行います。
- ・ 望ましい生活・学習習慣の確立を目的に「フォーサイト手帳」を活用して指導します。
- ・ 放課後を活用した補充学習や宿題、自学課題提示、1人1台端末等を活用した課題などを通じて、個別に最適化された家庭学習を推進します。
- ・ 進路指導とキャリア教育を推進し、生徒が自らの将来について考え、将来の夢や目標を持てるようにします。
- ・ 夢や目標の実現のために、自分の生活上の課題を改善し、主体的に学びに向かおうとする気持ちを高める取組を一層進めていきます。

4. 生徒質問紙による学習状況に関する調査

(1) 全国の回答と比較し、良い傾向の項目（全国比+10%以上の項目で代表的なもの）

- 自分にはよいところがあると思いますか。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 人が困っているときは、進んで助けますか。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- 1, 2年生のとき受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。
- あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章で作成する（文字・コメントを書く等）ことができると思いますか。
- 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。

(2) 全国の回答と比較し、改善が必要と思われる項目

- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く） 3時間以上
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む） 4時間以上

5. ご家庭へのご協力をお願い

○ 子どもたちが自分自身の意見を語る経験を

① 生徒が自分たちの「これからの生き方」が語れる経験を

地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う生徒は4割弱（全国2割弱）います。また、人の役に立つ人間になりたいと考える生徒が8割（全国7割弱）います。将来の夢や目標を持つ生徒が4割（全国3割強）いることから、自分のこれからの生き方を自分の力でしっかりと考え、語る経験を各家庭でも積み重ねてください。

② 生徒の話を最後まで聞く時間を作って下さい。

保護者の方の多くは、お仕事などで忙しく、時間があまりとれないかもしれませんが、お子さんの話を最後まで根気強く聞いてあげて下さい。話を途中でさえぎり「どうせ～なんですよ」と結論を先回りしていませんか。「それから？」「あなたはどう思ったの？」「～はどうなったの？」「私は～の方が良いと思ったけど、あなたは？」など、話を広げるリアクションをしてあげて下さい。生徒が最後まで話す機会を作っていただきたいと思います。

三中生の学力の課題は「根拠を明確にして表現する」「聞き手が理解しやすいかを考えながら表現する」「自分の考えていることが条件を満たしているのかを生徒自身が振り返る」ことです。これらは「話を聞いてもらう経験」を通じて自信のつくものだと言えます。ご家庭でもご協力お願いします。